
AX260A ソフトウェアマニュアル

訂正資料

Ver.4.21 以降対応版

■はじめに

このマニュアルは、以下に示す AX260A ソフトウェアマニュアルからの変更内容を記載しています。

マニュアル名	マニュアル番号	発行
AX260A ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションガイド Vol.1 (Ver.4.21 対応)	AX26A-S001-60	2020 年 11 月
AX260A ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションガイド Vol.2 (Ver.4.21 対応)	AX26A-S002-60	2020 年 11 月
AX260A ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションコマンドレファレンス (Ver.4.21 対応)	AX26A-S003-60	2020 年 11 月
AX260A ソフトウェアマニュアル 運用コマンドレファレンス (Ver.4.21 対応)	AX26A-S004-60	2020 年 11 月
AX260A ソフトウェアマニュアル メッセージ・ログレファレンス (Ver.4.21 対応)	AX26A-S005-60	2020 年 11 月
AX260A ソフトウェアマニュアル MIB レファレンス (Ver.4.21 対応)	AX26A-S006-60	2020 年 11 月

■商標一覧

Ethernet は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

IPX は、Novell,Inc.の商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

sFlow は、米国およびその他の国における登録商標です。

イーサネットは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。

そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■マニュアルはよく読み、保管してください。

製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

■ご注意

このマニュアルの内容については、改良のため、予告なく変更する場合があります。

■発行

2024年 4月 (第3版)

■著作権

All Rights Reserved, Copyright (C), 2021, 2024, ALAXALA Networks Corp.

変更内容

■第3版の変更内容

表 変更内容

マニュアル名	追加・変更内容
コンフィグレーションガイド Vol.1	下記を変更しました。 「14.1.6 MC 運用モード機能使用時の注意事項」
運用コマンドレファレンス	「4 コンフィグレーションとファイルの操作」 copy コマンドを変更しました。

■第2版の変更内容

表 変更内容

マニュアル名	追加・変更内容
コンフィグレーションガイド Vol.1	下記を変更しました。 「15.1.5 他機能との共存」 「15.1.6 ゼロタッチプロビジョニング機能使用時の注意事項」

■第1版の変更内容

表 変更内容

マニュアル名	追加・変更内容
MIB レファレンス	「3.14.6 ax260aPhysLine グループの実装仕様(line(物理回線)情報)」を変更しました。

目次

第 1 編 コンフィグレーションガイド Vol.1	5
第 2 編 コンフィグレーションガイド Vol.2	9
第 3 編 コンフィグレーションコマンドレファレンス	10
第 4 編 運用コマンドレファレンス.....	11
第 5 編 メッセージ・ログレファレンス.....	13
第 6 編 MIB レファレンス	14

14 MC 運用モード機能

14.1 MC 運用モード機能の解説

14.1.6 MC 運用モード機能使用時の注意事項

追加

(3) スタック動作時の MC 出力について [Ver.4.26.B 以降]

(3) スタック動作時の MC 出力について

- スタック動作時に MC 運用モードを使用している場合、以下の運用コマンド実行後にメンバスイッチの MC に出力する場合（MC の抜き挿し、運用コマンド `update mc-configuration` 実行など）は、60 秒待ってください。
 - 運用コマンド `adduser`
 - 運用コマンド `rmuser`
 - 運用コマンド `set web-authentication html-files`
 - 運用コマンド `clear web-authentication html-files`

15 ゼロタッチプロビジョニング機能

15.1 ゼロタッチプロビジョニング機能の解説

変更

15.1.5 他機能との共存

15.1.6 ゼロタッチプロビジョニング機能使用時の注意事項

15.1.5 他機能との共存

(2) 本機能で使用する VLAN について

~~ゼロタッチプロビジョニング機能用の VLAN は、本機能専用 VLAN として設定してください。~~

~~本機能で使用する VLAN は、デフォルトコンフィグレーションで VLAN1 が設定されています。他機能と重複しないように本機能専用の VLAN を割り当ててください。~~

~~本機能を使用しない場合は、コンフィグレーションコマンド `no system zero touch provisioning` で削除してください。~~

15.1.6 ゼロタッチプロビジョニング機能使用時の注意事項

ゼロタッチプロビジョニング機能用の VLAN は、本機能専用 VLAN として設定してください。

本機能で使用する VLAN は、デフォルトコンフィグレーションで VLAN1 が設定されています。他機能と重複しないように本機能専用の VLAN を割り当ててください。

また、本機能は初期状態で有効です。通常運用では本機能を無効にしてください。(コンフィグレーションコマンド `no system zero-touch-provisioning` で削除し、`save` コマンドで保存してください。)

第2編 コンフィグレーションガイド Vol.2

追加および変更はありません。

第3編 コンフィグレーションコマンドレファレンス

追加および変更はありません。

4 コンフィグレーションとファイルの操作

copy

追加

[注意事項] [Ver.4.26.B 以降]

[注意事項]

- スタック動作時に、テキスト形式のコンフィグレーションファイルのコピー先をスタートアップコンフィグレーションファイルに指定して装置を再起動した場合、起動メッセージが 2 回表示されます。

第5編 メッセージ・ログレファレンス

追加および変更はありません。

3 プライベート MIB

3.14 ax260aDevice グループ (システム装置の筐体情報 MIB)

3.14.6 ax260aPhysLine グループの実装仕様(line(物理回線)情報)

変更

表 3-39 ax260aPhysLine グループの実装仕様(line(物理回線)情報) [Ver.4.23 以降]

表 3-39 ax260aPhysLine グループの実装仕様(line(物理回線)情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
8	ax260aPhysLineLaneTable {ax260aPhysLine 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	トランシーバのレーン情報テーブル	●
9	ax260aPhysLineLaneEntry {ax260aPhysLineLaneTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	レーン情報エントリ。 INDEX { ax260aChassisIndex, ax260aPhysLineIndex, ax260aPhysLineLaneIndex }	●
10	ax260aPhysLineLaneIndex {ax260aPhysLineLaneEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	レーン番号の情報。 ・本装置の場合：1	●
11	ax260aPhysLineLaneTransceiverTxPower {ax260aPhysLineLaneEntry 2}	Integer32	R/O	送信光パワー(dBm)を 10 倍した値。 例：-1.0dBm の場合、-10 次の場合は 300 を応答します。 ・トランシーバの光パワーが 取得不可 ・トランシーバの光パワーが 「-40dBm～+8.2dBm」の範囲外	●
12	ax260aPhysLineLaneTransceiverRxPower {ax260aPhysLineLaneEntry 3}	Integer32	R/O	受信光パワー(dBm)を 10 倍した値。 例：-1.0dBm の場合、-10 次の場合は 300 を応答します。 ・トランシーバの光パワーが 取得不可 ・トランシーバの光パワーが 「-40dBm～+8.2dBm」の範囲外	●